



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 リョービ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5851 URL <https://www.ryobi-group.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 浦上 彰

問合せ先責任者 （役職名） 執行役員 経営企画本部副本部長
兼 財務部部长 （氏名） 有廣 弘 TEL 03-3501-0511

半期報告書提出予定日 2026年8月5日

配当支払開始予定日 2026年9月1日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	156,773	2.0	4,454	△25.4	4,834	△20.7	4,003	△9.6
2025年12月期中間期	153,745	6.3	5,975	15.1	6,093	△8.9	4,427	△7.2

（注）包括利益 2026年12月期中間期 9,770百万円（－％） 2025年12月期中間期 △3,461百万円（－％）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間 純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	125.87	—
2025年12月期中間期	136.78	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	345,613	197,592	54.3
2025年12月期	343,734	189,550	52.2

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 187,738百万円 2025年12月期 179,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年12月期	—	52.00			
2026年12月期（予想）			—	54.00	106.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	340,000	10.0	13,000	2.6	14,000	△4.2	12,000	7.3	377.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 — 社 (社名)

、 除外 — 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期中間期	31,809,471株	2025年12月期	31,809,471株
--------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年12月期中間期	—株	2025年12月期	—株
--------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	31,809,471株	2025年12月期中間期	32,368,252株
--------------	-------------	--------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

(補足資料) 2026年12月期第2四半期(中間期)決算補足資料

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年1月1日～2026年6月30日）における当社グループを取り巻く環境は、資源価格やエネルギー価格の高騰、各国の通商政策の影響などにより、不安定な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは積極的な販売活動を進めるとともに、原価低減や生産性の向上、業務の効率化などの諸施策を推進しました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、次のとおり前年同期に比べて増収、減益となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上高	153,745	156,773	3,027 (2.0%)
営業利益	5,975 (3.9%)	4,454 (2.8%)	△1,520 (△25.4%)
経常利益	6,093 (4.0%)	4,834 (3.1%)	△1,259 (△20.7%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,427 (2.9%)	4,003 (2.6%)	△423 (△9.6%)

() 内は売上高利益率、ただし増減欄は増減率

セグメント別では、ダイカスト事業は、前年同期に比べて増収、減益となりました。生産量は若干減少しましたが、原料（アルミ）価格の上昇分を売価に転嫁したことや、在外子会社の売上高の円換算額が円安の影響により増加したこともあり、国内、海外ともに増収となりました。利益については、原価低減や生産性の向上に努めましたが、原料（アルミ）価格の急激な高騰が続き、その上昇分を売価に転嫁するまでに一定の期間を要するため、減益となりました。

住建機器事業は、前年同期に比べて減収、減益となりました。売上高は、国内、海外ともに減収となりました。利益については、中国人民元高により、生産拠点のある中国からの調達コストが上昇し、原価低減や経費節減に努めたものの減益となりました。

印刷機器事業は、前年同期に比べて減収、減益となりました。売上高は、先行きの不透明感による設備投資マインドの低下の影響により、国内、海外ともに減収となりました。利益については、減収の影響により減益となりました。

①セグメント別売上高

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
ダイカスト	134,979 (87.8%)	143,310 (91.4%)	8,331 (6.2%)
住建機器	5,377 (3.5%)	5,081 (3.2%)	△295 (△5.5%)
印刷機器	13,278 (8.6%)	8,253 (5.3%)	△5,024 (△37.8%)

() 内は構成比率、ただし増減欄は増減率

②セグメント別営業利益又はセグメント別営業損失

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
ダイカスト	5,053 (3.7%)	4,700 (3.3%)	△352 (△7.0%)
住建機器	16 (0.3%)	△185 (△3.6%)	△202 (—)
印刷機器	935 (7.0%)	△38 (△0.5%)	△973 (—)

() 内は売上高利益率、ただし増減欄は増減率

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億78百万円増加し、3,456億13百万円となりました。増加は主に棚卸資産64億17百万円、投資有価証券8億35百万円等によるものです。その一方で、減少は現金及び預金41億85百万円、有形固定資産6億62百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ61億63百万円減少し、1,480億20百万円となりました。減少は主に借入金54億90百万円、支払手形及び買掛金6億13百万円等によるものです。受取手形割引高及びリース債務を除いた有利子負債残高は、692億51百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ80億42百万円増加し、1,975億92百万円となりました。増加は主に為替換算調整勘定50億82百万円、利益剰余金24億13百万円、その他有価証券評価差額金9億59百万円等によるものです。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は、前連結会計年度末に比べ82億69百万円増加し、1,877億38百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.1ポイント増加し、54.3%となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当中間連結会計期間末	増減
総資産	343,734	345,613	1,878 (0.5%)
自己資本	179,469 (52.2%)	187,738 (54.3%)	8,269 (4.6%)
有利子負債	74,742 (21.7%)	69,251 (20.0%)	△5,490 (△7.3%)

() 内は対総資産比率、ただし増減欄は増減率

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ46億97百万円減少し、225億94百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べ32億3百万円増加し、74億87百万円の資金増加となりました。資金増加は主に減価償却費97億14百万円、税金等調整前中間純利益56億97百万円等によるものです。その一方で、資金減少は棚卸資産の増加51億2百万円、投資有価証券売却益10億23百万円、仕入債務の減少11億1百万円等がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べ84億14百万円支出が減少し、46億72百万円の資金減少となりました。資金減少は主に有形固定資産の取得による支出67億7百万円、定期預金の預入による支出42億80百万円等によるものです。その一方で、資金増加は定期預金の払戻による収入38億90百万円、投資有価証券の売却による収入13億50百万円等がありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べ122億42百万円減少し、80億32百万円の資金減少となりました。資金減少は主に借入金の減少61億22百万円、配当金の支払15億90百万円等によるものです。

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	4,284	7,487	3,203
投資活動による キャッシュ・フロー	△13,087	△4,672	8,414
財務活動による キャッシュ・フロー	4,210	△8,032	△12,242

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年2月12日(2025年12月期決算発表時)に公表した業績予想を、次のとおり修正します。

売上高については、生産量が前回予想発表時から若干減少するものの、ダイカスト事業において原料(アルミ)価格上昇分の売価への転嫁が進むことや、円安の影響により在外子会社の円換算額が増加することから、前回発表予想を上回ると見込んでいます。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、下半期はおおむね前回予想どおりに推移すると見込んでいますが、当中間連結会計期間の経営成績が前回予想を上回ったことから、通期の業績予想をそれぞれ修正しています。

通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 313,000	百万円 12,800	百万円 13,300	百万円 11,500	円 銭 361.53
今回修正予想(B)	340,000	13,000	14,000	12,000	377.25
増減額(B-A)	27,000	200	700	500	—
増減率(%)	8.6	1.6	5.3	4.3	—
(ご参考)前期実績 (2025年12月期)	309,111	12,665	14,620	11,182	346.41

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,153	26,968
受取手形及び売掛金	65,505	66,322
有価証券	650	650
商品及び製品	23,296	23,407
仕掛品	18,125	22,002
原材料及び貯蔵品	21,620	24,049
その他	5,058	4,794
貸倒引当金	△17	△20
流動資産合計	165,392	168,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,107	38,129
機械装置及び運搬具（純額）	61,278	60,812
土地	15,682	15,692
建設仮勘定	9,525	8,114
その他（純額）	5,721	5,902
有形固定資産合計	129,314	128,651
無形固定資産		
その他	2,672	2,732
無形固定資産合計	2,672	2,732
投資その他の資産		
投資有価証券	23,102	23,937
その他	23,268	22,134
貸倒引当金	△16	△17
投資その他の資産合計	46,354	46,055
固定資産合計	178,341	177,438
資産合計	343,734	345,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,970	35,356
短期借入金	29,414	27,813
1年内返済予定の長期借入金	8,660	15,177
未払法人税等	1,038	650
賞与引当金	819	857
役員賞与引当金	33	—
その他	19,895	19,915
流動負債合計	95,830	99,771
固定負債		
長期借入金	36,667	26,259
退職給付に係る負債	6,495	6,501
その他	15,189	15,487
固定負債合計	58,353	48,249
負債合計	154,184	148,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,472	18,472
資本剰余金	20,625	20,625
利益剰余金	96,583	98,997
株主資本合計	135,681	138,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,240	13,199
土地再評価差額金	725	725
為替換算調整勘定	27,051	32,134
退職給付に係る調整累計額	3,770	3,583
その他の包括利益累計額合計	43,787	49,643
非支配株主持分	10,081	9,854
純資産合計	189,550	197,592
負債純資産合計	343,734	345,613

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	153,745	156,773
売上原価	134,741	139,916
売上総利益	19,004	16,857
販売費及び一般管理費	13,028	12,402
営業利益	5,975	4,454
営業外収益		
受取利息	92	106
受取配当金	332	342
受取賃貸料	75	131
為替差益	—	118
商標権使用料	270	275
助成金収入	54	91
その他	381	277
営業外収益合計	1,207	1,343
営業外費用		
支払利息	698	778
為替差損	211	—
その他	180	185
営業外費用合計	1,089	963
経常利益	6,093	4,834
特別利益		
固定資産処分益	30	34
投資有価証券売却益	143	1,023
特別利益合計	174	1,058
特別損失		
固定資産処分損	46	59
投資有価証券評価損	—	134
特別損失合計	46	194
税金等調整前中間純利益	6,221	5,697
法人税等	1,457	1,712
中間純利益	4,763	3,985
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	335	△18
親会社株主に帰属する中間純利益	4,427	4,003

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	4,763	3,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	889
土地再評価差額金	△15	—
為替換算調整勘定	△7,951	5,082
退職給付に係る調整額	△128	△186
その他の包括利益合計	△8,224	5,785
中間包括利益	△3,461	9,770
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△3,753	9,859
非支配株主に係る中間包括利益	292	△88

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2026年 1 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,221	5,697
減価償却費	9,647	9,714
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	37	38
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△159	△19
受取利息及び受取配当金	△425	△448
支払利息	698	778
助成金収入	△54	△91
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	134
投資有価証券売却損益 (△は益)	△143	△1,023
固定資産処分損益 (△は益)	16	24
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,799	513
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,459	△5,102
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	329	△669
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,315	△1,101
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,350	655
その他	△307	△446
小計	8,541	8,661
利息及び配当金の受取額	421	436
利息の支払額	△748	△844
助成金の受取額	61	46
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,990	△811
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,284	7,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,397	△6,707
有形固定資産の売却による収入	214	66
有価証券の取得による支出	△650	△650
有価証券の売却による収入	650	650
投資有価証券の取得による支出	△7	△2
投資有価証券の売却による収入	150	1,350
定期預金の預入による支出	△6,252	△4,280
定期預金の払戻による収入	3,835	3,890
その他	370	1,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,087	△4,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,299	△2,108
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△2,996	△4,013
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,373	△1,590
その他	△219	△320
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,210	△8,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	△791	520
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,383	△4,697
現金及び現金同等物の期首残高	28,026	27,292
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,643	22,594

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結財務 諸表計上額 (注) 3
	ダイカスト	住建機器	印刷機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	134,979	5,377	13,278	153,634	111	153,745	—	153,745
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	0	6	25	8	34	△34	—
計	134,998	5,377	13,284	153,660	119	153,780	△34	153,745
セグメント利益又は 損失 (△)	5,053	16	935	6,005	△29	5,975	△0	5,975

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及びゴルフ場の経営を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結財務 諸表計上額 (注) 3
	ダイカスト	住建機器	印刷機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	143,310	5,081	8,253	156,646	127	156,773	—	156,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	0	0	18	2	21	△21	—
計	143,329	5,081	8,253	156,664	130	156,795	△21	156,773
セグメント利益又は 損失 (△)	4,700	△185	△38	4,476	△21	4,455	△0	4,454

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及びゴルフ場の経営等を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2026年12月期 第2四半期(中間期)決算補足資料

2026年8月5日
リョービ株式会社

(単位:百万円、%)

	2024/12		2025/12		2026/12	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(予想)
	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率
売上高	144,638	293,314	153,745	309,111	156,773	340,000
営業利益	5,192 3.6	9,494 3.2	5,975 3.9	12,665 4.1	4,454 2.8	13,000 3.8
経常利益	6,686 4.6	11,551 3.9	6,093 4.0	14,620 4.7	4,834 3.1	14,000 4.1
親会社株主に 帰属する当期純利益	4,772 3.3	6,935 2.4	4,427 2.9	11,182 3.6	4,003 2.6	12,000 3.5
1株当たり当期純利益	147.45円	214.26円	136.78円	346.41円	125.87円	377.25円

セグメント別売上高

	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
ダイカスト	127,175 87.9	257,909 87.9	134,979 87.8	274,310 88.7	143,310 91.4	307,000 90.3
住建機器	5,346 3.7	11,040 3.8	5,377 3.5	10,874 3.5	5,081 3.2	11,500 3.4
印刷機器	12,010 8.3	24,120 8.2	13,278 8.6	23,667 7.7	8,253 5.3	21,500 6.3
国内	59,499 41.1	125,968 42.9	66,171 43.0	135,046 43.7	69,314 44.2	151,700 44.6
海外	85,139 58.9	167,346 57.1	87,574 57.0	174,064 56.3	87,459 55.8	188,300 55.4

セグメント別営業利益

	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率	利益率
ダイカスト	4,874 3.8	8,994 3.5	5,053 3.7	11,257 4.1	4,700 3.3	12,500 4.1
住建機器	-62 -1.2	-413 -3.7	16 0.3	119 1.1	-185 -3.6	200 1.7
印刷機器	397 3.3	934 3.9	935 7.0	1,321 5.6	-38 -0.5	300 1.4

	比率	比率	比率	比率	比率	
総資産	334,958	333,186	319,039	343,734	345,613	—
自己資本	168,435 50.3	167,352 50.2	162,248 50.9	179,469 52.2	187,738 54.3	—
利益剰余金	87,608 26.2	88,395 26.5	91,446 28.7	96,583 28.1	98,997 28.6	—
有利子負債	65,921 19.7	61,966 18.6	66,398 20.8	74,742 21.7	69,251 20.0	70,000

設備投資	7,861	17,400	10,969	18,769	6,071	20,000
減価償却費	9,521	19,270	9,647	19,255	9,714	19,000

営業キャッシュ・フロー	17,814	29,162	4,284	13,888	7,487	—
投資キャッシュ・フロー	-6,687	-13,723	-13,087	-22,529	-4,672	—
財務キャッシュ・フロー	-9,259	-14,901	4,210	7,651	-8,032	—

(単位:人)

期末人員	7,519	7,939	7,743	7,511	7,309	—
------	-------	-------	-------	-------	-------	---

(’26/12期第3四半期以降の想定為替レート)

米ドル	155円	英ポンド	210円
中国元	23.0円	タイバーツ	4.7円